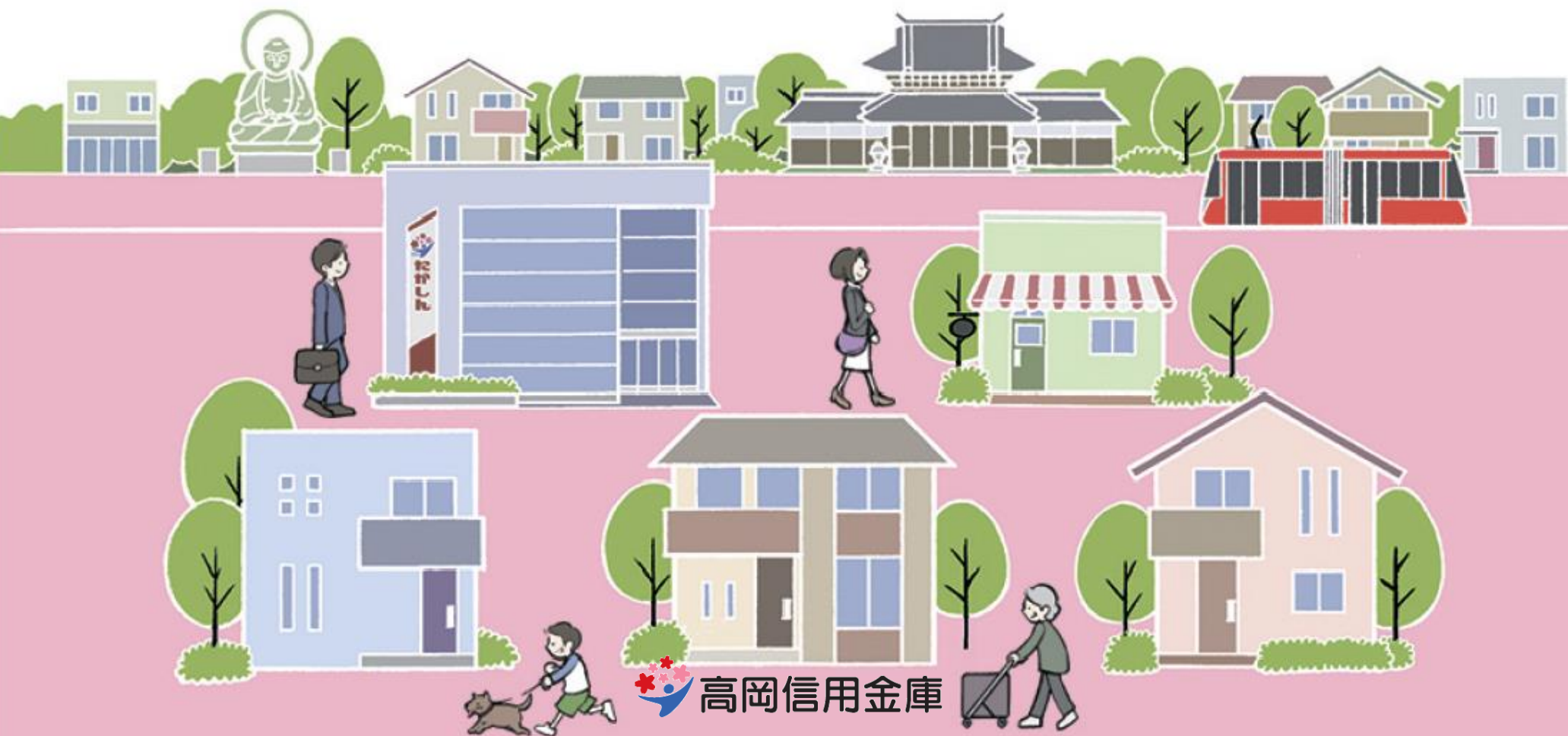


地域密着型金融への取組み状況

(取組み期間:平成26年4月1日～平成27年3月31日)



✦ 地域密着型金融推進に対する基本的取組み

地域密着型金融とは、「金融機関とお客様との間で親密な関係を長く維持することによりお客様に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出金等の金融サービスの提供を行なうことで展開するビジネスモデル」と位置づけられています。

当金庫では、平成15年4月以降、2次4年に亘る「金融再生プログラム」、「金融重点強化プログラム」を着実に遂行し、平成19年4月からは、地域密着型金融を恒久的な取組みと位置付け、地域の情報集積を活用した持続的な事業再生への取組み、地域活性化につながる貸出機能の強化及び、中小企業のライフサイクルに沿った事業支援を進めてまいりました。また、多様なサービスの提供、お客様の利便性の向上、地元社会へのお手伝いを通じて地域との共存共栄を目指してまいりました。

平成26年4月からの取組みにおいても、更なるきめ細かい対面営業の展開と地域の各方面との連携強化、会員の皆様との信頼関係の強化、内部体制の整備と金融機能の発揮を推進してまいりました。

今後も引き続き、「地域密着型金融の取組み」を深化させ、更なる地域金融の円滑化、お客様への利便性・満足度の向上、信頼される健全経営の確保等に努めてまいります。

平成26年度の取組み状況を次の通り報告させていただきます。

平成26年度の取組み事項と実績

取組み分野	取組み項目	平成26年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成26年度の実績
1. ライフサイクルに応じた取引先企業への支援の更なる強化	(1) コンサルティング機能の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業・新規事業支援、経営改善、事業再生支援、事業継承等、取引先のライフステージを適切・慎重に見極めた上で、課題解決に向けた支援を行ないます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度の新規事業の創業先に対する融資は、5件（5先）・26百万円、新規事業への進出先に対しては、3件（3先）・228百万円の実績でした。 ・ 経営改善支援取組み先241先に対して、原則、毎月1回訪問し、経営相談や経営指導を行ないました。また、月次損益や改善項目の進捗状況をヒアリングし、計画達成度合を検証することで、フォローアップに努めました。その結果、平成26年度は経営改善支援取組み先のうち債務者区分で7先、信用格付で27先がランクアップとなりました。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引先の経営課題解決に向けて、外部機関、専門家等と連携し、第三者的な視点や専門的な知見・機能を積極的に活用します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業再生支援協議会へ相談案件として持込みしていた5先の計画が承認されました。 ・ 富山県中小企業診断協会と連携し、経営改善支援センター事業により策定支援した5先の改善計画書に同意しました。 ・ 平成25年度に創業されたお取引先に対して、よろず支援拠点と連携して専門家を派遣し、問題解決に向けた支援を行ないました。
	(2) 取引企業の技術・ノウハウの発掘と進化、活用策の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引先相互支援のために、個別のマッチングを実施します。また、しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2014」や全国各地のビジネスフェア等への参加を通じて、マッチングの機会を増やします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸地方最大のビジネスフェアである「北陸ビジネス街道2014」が10月23日に開催されました。北陸3県下の信用金庫のお取引先のみならず、隣接する近畿・東海・信越地区及び東北地区などの信用金庫のお取引先にも参加をいただきました。ビジネスフェアでは、当金庫お取引先より27社の出展をいただき、247件の商談が行なわれました。 ・ また11月12日に、東京ドームで全国の信用金庫を対象とした「信金発！地域発見フェア」が開催され、当金庫お取引先より1機関、1グループ（7社）の出展をいただきました。 ・ 他金庫のビジネスフェアへの参加として、今年度初めて「東京東信金」主催のビジネスフェアに当金庫お取引先2社の参加をいただきました。
(3) 将来の成長可能性を重視した事業の育成と地域の面的再生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新事業分野や成長産業分野（介護・福祉・福祉機器・次世代自動車等）への取組みを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業推進部事業サポートグループが中心となって、医療・介護関係企業への積極的なアプローチや支援を実施した結果、サービス付高齢者住宅の開設も含め12件で約15億円の融資実行がありました。 ・ 内容は、介護コンサルタント企業へのコンタクト、新規介護事業者への開設相談（資金相談・事業計画作成相談、運営相談他）等を行ないました。 	

取組み分野	取組み項目	平成26年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成26年度の実績
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底	(1)中小企業者の資金調達手法の多様化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・大型融資には、シンジケートローン等を活用し、新規取引先や既存取引先の資金調達に柔軟に対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度のシンジケートローン取扱は、1件100百万円となりました。 ・今後も積極的にシンジケートローンを活用し、大口資金需要に対応していきます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・不動産担保や保証に依存しない融資として、動産・債権譲渡担保融資、ABLや資本性借入金等を活用し、新規融資の促進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度は、動産・債権譲渡担保融資、ABL、資本性融資等の実績はありませんでした。
	(2)地公体や商工団体、関係機関との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・中部経済産業局・新世紀産業機構・市・商工会議所・商工会等と連携し、補助金を含む各種支援事業を取引先に提案し活用を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業支援に係る意見交換会を5機関で年3回開催したほか、平成26年に組成した「たかしん中小企業支援プラットフォーム」を通じて専門家派遣や無料経営相談を実施し、14先に31回派遣しました。 ・中小企業基盤整備機構と11月7日「IT販路拡大セミナー」を開催し、24名の参加をいただきました。 ・取引先の経営課題解決を支援するため「たかしん中小企業支援プラットフォーム」から、中小企業庁「中小企業、小規模事業者ビジネス創造等支援事業」を活用した専門家派遣を9先に対し、20回実施しました。 ・平成25年補正予算による『ものづくり補助金』について34件の申請を支援しました。併せて、支援機関としての取組みが評価され、中小企業庁の取り纏めによる事例集に紹介され、平成27年3月の活動促進セミナーで発表しました。
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関と継続的に意見交換を実施し、国や地公体等の各種補助金や支援策等の理解を深めるとともに、取引先への周知・活用を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業基盤整備機構、高岡市、高岡商工会議所、高岡市商工会と当金庫の5機関による会合を3回開催し、各種補助金を含む情報交換会を実施しました。
	(3)取引先の問題解決に向けた外部機関の活用と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地公体・商工会議所・商工会・中小企業再生支援協議会等の外部機関や税理士、弁護士、公認会計士、中小企業診断士等の専門家と連携して、経営改善や企業再生等に取組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営コンサルティング会社と連携し、契約先4社に対して生産技術面でのノウハウ提供と経営改善支援に取組んでいます。 ・富山県中小企業診断協会及び、よろず支援拠点との連携により無料経営相談会を2回開催しました。
		<ul style="list-style-type: none"> ・所管部と営業店は外部機関や専門家が実施する取組みに参加し、ノウハウを取得します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「たかしん中小企業支援プラットフォーム」から、中小企業庁「中小企業、小規模事業者ビジネス創造等支援事業」を活用して実施する専門家派遣に金庫職員が同席し、ノウハウの取得に努めました。

取組み分野	取組み項目	平成26年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成26年度の実績
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	(1)多重債務者問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・多重債務者向けの相談窓口を継続し、住宅ローンの返済条件変更や多重債務に関する相談などに対応していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金融円滑化窓口を設置し、住宅ローンの返済条件変更や多重債務に関する相談に対応しました。 ・平成26年度は、住宅ローンについて11件の相談を受け、うち7件で借換えや返済条件を変更するなどの対応を行ないました。
	(2)目利き能力と融資対応能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の将来性、技術力を的確に評価できる目利き能力や経営改善へのコンサルティング能力の向上など、事業再生・中小零細企業金融の円滑化に対応できる人材の育成に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全信協の「目利き力養成講座」、地区協の「目利き力強化・養成講座」や「融資渉外講座」等に延べ12名の職員を派遣しました。また、女性に対する融資能力向上を目指し、全信協「女性管理職のための融資入門講座」、地区協「女性融資業務基礎講座」に計4名の職員を派遣しました。 ・（独）中小企業基盤整備機構が主催した「事業承継セミナー」に本部職員が参加して、事業承継支援の手法等について理解を深めました。
		<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士等国家資格の取得を支援するとともに、国家資格等に挑戦する人材の育成に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度中には、中小企業診断士サポート講座第1期生及び第3期生から1名ずつの第1次試験合格者を中小企業大学校へ派遣し、資格取得の支援を行いました。その結果、当金庫における中小企業診断士は、2名から4名になりました。 ・現在は、中小企業診断士サポート講座第4期生2名に対し、資格取得に向けバックアップ中です。
4. その他	(1)法令等遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力と対決し、被害を防止するため、取引を含めた一切の関係を遮断して、不当要求には断固拒絶いたします。また、警察や外部専門機関との十分な連携により対応を強化します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反社会的勢力の範囲を拡大・明確化するとともに、反社との取引解約については、常勤役員会で金庫の解約意思を決定後、警察より正式回答を得て、顧問弁護士と綿密な打合せのもと、取引解約交渉を行う体制を整備しました。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「改正犯罪収益移転防止法」及び「組織犯罪処罰法」に則り、庫内関連規則である「マネー・ローンダリング防止対策事務取扱要領」等に従って、取引時確認、疑わしい取引の届出等を適切に行ないます。また、振り込め詐欺の発生を防止するとともに、「振り込め詐欺救済法」に基づき、被害回復分配金の支払手続を遅延なく行ないます。また、「外国口座税務コンプライアンス法」に則り、「外国口座税務コンプライアンス法FATCA遵守規程」等に従って手続きを適切に行ないます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店では、毎営業日「不正・風評等取引監視日報」を検証し、疑わしい取引と感知した場合、速やかにコンプライアンス部（以下、「統括部署」という。）へ報告し、統括部署は「マネー・ローンダリング防止対策事務取扱要領」に基づき、金融庁への届出等を実施しています。また、「振り込め詐欺救済法」に基づき、犯罪利用口座等の利用があると認めるときは、速やかに預金等債権の消滅手続を実施しています。また、「外国口座税務コンプライアンス法」に則り、「外国口座税務コンプライアンス法FATCA遵守規程」等に従って、手続きを適切に実施しています。

取組み分野	取組み項目	平成26年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成26年度の実績
4 . その他	(1) 法令等遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業店への臨店指導を強化し、法令等遵守に関する指示の徹底とその実施状況について事後の検証を行ないます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統括部署は全営業店に対する臨店勉強会及び年3回のコンプライアンス・アシスタントを対象とした研修会等を実施し、法令等遵守に関連した指導を行ないました。また、事務処理態勢の監査等を通じて事後検証を行ない、再発防止等についての指導も行ないました。
	(2) 店舗の構造強化と安全性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ A E D の設置 (2~3カ店) ・ 点字ブロック (1~2カ店) ・ 耐震構造の調査 (2カ店) などを行ないます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度は4カ店舗にA E D (自動体外式除細動器) を設置しました。また、配置店舗の職員を対象に心肺蘇生法やA E Dの使用方法等の救命講習を実施しました。 ・ 平成26年度は、1カ店に点字ブロックを敷設し、全27カ店舗中25カ店舗が点字ブロックの敷設店舗となりました。 ・ 平成26年度は2カ店舗の耐震構造の調査を実施しました。
	(3) 地域のお客様との関係強化と、意見・要望を業務に反映させる体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の営業店担当制を深化させ、会員・親睦会との関係を強化することで、お客様より率直な意見・要望をくみ取る体制を整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専務理事以下の7名の理事で全27カ店を分担し、支店長との同行による取引先訪問を月1回以上行ないました。 ・ 訪問を通じ、地域や事業者の情報や要望を収集し、定期的に理事会への報告を行ない、全役員による情報の共有化とお客様からの要望に対して、素早い対応ができるよう努めました。

✦ 具体的取組み事例

1. ライフサイクルに応じた取引先企業への支援の更なる強化に対する取組み

○当金庫取引先企業の海外進出をサポート

取引先企業の東南アジア諸国への進出検討など海外展開需要の高まりを受け、海外ビジネスをサポートするため、平成26年11月にポリテクセンター富山において信金中央金庫との共催により「海外進出支援セミナー」を開催しましたところ、15社、41名の参加をいただきました。

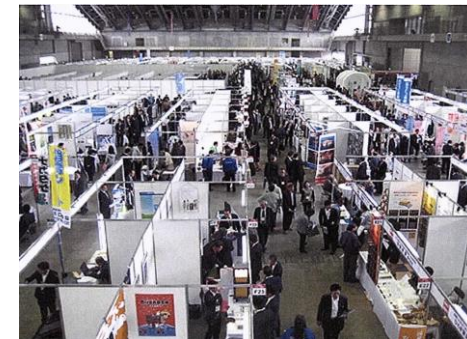


信金発!地域発見フェア

○しんきんビジネスフェア

平成26年11月に、東京ドームで全国の信用金庫を対象とした「信金発!地域発見フェア」が開催され、当金庫お取引先より1機関、1グループ（7社）の出展をいただきました。

また、平成26年10月には、石川県産業展示館において北陸地区信用金庫協会主催のしんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2014」が開催されました。当金庫でも地域経済の活性化と、地元企業の事業発展を目的とし、当金庫取引先27社の出展をいただきました。ビジネスマッチングも同時に実施し、247件の商談がありました。



北陸ビジネス街道



○「中小企業再生支援協議会との事前相談会」の開催

お取引先の経営課題解決に向けて、外部機関と連携し、第三者的な視点や専門的な知見・機能を積極的に活用し、お取引先をバックアップするため、平成26年4月に中小企業再生支援協議会との事前相談会を開催しました。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底に対する取り組み

○「たかしん無料経営相談会」の開催等

「富山県中小企業診断協会」及び「富山県よろず支援拠点」と連携し、無料経営相談会を平成26年10・11月と2回開催しました。

また、経営コンサルティング会社と連携し、生産技術面でのノウハウ提供や経営改善支援に積極的に取り組み、お取引先の問題解決に向けて、外部人材も活用しています。



○「IT販路拡大セミナー(eコマース)」の開催

「たかしん中小企業支援プラットフォーム」の一環として、これからネットショップ(インターネット販売)を立ち上げたい方、パソコンが苦手でもネットショップを開店できるか知りたい方、本気で繁盛店を目指したい方、ネットショップを開店したが思うように成果があげられない方などを対象として、平成26年11月に「IT販路拡大セミナー(eコマース)」を開催しました。

また、セミナーと同時並行して「富山県よろず支援拠点」の無料経営相談を別室にて行ないました。

○「たかしん地域活性化資金」

成長期にある優良取引先を低利資金で支援するために創設しました「たかしん地域活性化資金」を継続して取扱いしております。本資金を活用することで地域経済の活性化と地元企業の事業発展に貢献するため、積極的に営業活動を展開しています。

○「土曜セミナー」・「融資審査トレーニー研修」を実施

職員の目利き能力、融資対応能力向上を目的として職員向けの両勉強会を開催しました。「土曜セミナー」として医療・介護分野理解講座など、平成26年4月～27年1月の土曜日に全14講座を開催しました。

「融資審査トレーニー研修」として若手職員に融資審査の基本(資金使途・返済財源等)を体得させるため、平成26年5月と11月に実際に稟議の場へ参加させて、融資部が直接指導を行ないました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献に対する取組み

○「おもしろ年金セミナー」及び「年金個別相談会」を開催

講師に社会保険労務士の原 玲子氏をお迎えして、平成26年9月に「おもしろ年金セミナー」を開催しました。当日は73名の参加者に対し、難しい年金制度について楽しく、わかりやすく説明していただきました。同時に、「年金個別相談会」も開催し、お客様の年金に関する疑問、老後の生活設計について個別にお答えしました。



4. その他



○認知症サポート養成講座を開催

昨年度に引き続き、平成26年9月に高岡市社会福祉協議会から講師をお招きし、「認知症サポート養成講座」を開催いたしました。各営業店から窓口担当者に加え得意先係も含め、総勢54名の職員が参加しました。

認知症に対して正しい知識を持ち、業務の中で可能な範囲での手助け等を考え、お客様に優しい店舗づくりを目指しています。

○「たかしん経済講演会」を実施

講師に出町 譲氏(株)テレビ朝日 統括ニュースデスクをお招きして、『統括ニュースデスクが見る近現代史の偉人とアベノミクス』と題して平成26年10月に、たかしん経済講演会を開催しましたところ、318名のご参加をいただきました。



○復興支援ボランティアとして職員5名を派遣

3年連続で東日本大震災の復興支援ボランティアとして、平成26年10月に職員5名を派遣しました。宮城県気仙沼市お伊勢浜海岸で海岸清掃(瓦礫撤去、ゴミ拾い等)を行ないました。

また、災害ボランティアセンターの方々のほか、ボランティアに参加された他5金庫の職員の方々とも交流を図りました。

「地域密着型金融推進」に係る取組み実績

1. 主要計数の実績

① ライフサイクルに応じた支援強化の取組み実績

主要計数項目	平成27年3月末日目標	平成27年3月末実績
経営改善支援取組み率(※1)	40.0%	40.6%
経営改善支援取組み先の再生計画策定率(※2)	100.0%	100.0%
経営改善支援取組み先のランクアップ率(※3)	4.0%	2.9%
創業・新事業支援融資実績(件数・金額)	20件・800百万円	8件・254百万円

(※1)経営改善支援取組み率(40.6%)

＝経営改善支援取組み先数(241先)÷正常先除く期初債務者数(593先)

(※2)経営改善支援取組み先の再生計画策定率(100%)

＝再生計画策定先数(241先)÷経営改善支援取組み先数(241先)

(※3)経営改善支援取組み先のランクアップ率(2.9%)

＝支援先の債務者区分ランクアップ先数(7先)÷経営改善支援取組み先数(241先)

② 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績(中小企業に適した資金供給手法の徹底)

主要計数項目	平成27年3月末日目標	平成27年3月末実績
動産・債権譲渡担保融資実績(件数・金額)	5件・50百万円	0件・0百万円
財務制限条項活用融資実績(件数・金額)	2件・200百万円	0件・0百万円

2. その他の数値目標の実績

「地域密着型金融推進計画」の期間中に主要計数の取組みのほか、達成すべき業績水準として、以下の目標を設定し努力してまいりました。

項目	平成27年3月末目標	平成27年3月末実績
経営改善支援取組み先数	245先	218先
経営改善支援先の債務者区分ランクアップ先数	10先	7先
経営改善支援先の信用格付ランクアップ先数	50先	27先
コンサルティング提携企業先数	5先	4先
新規開業支援企業先数	10先	5先
新規分野進出支援企業先数	10先	3先
私募債取扱企業先数	1先	1先
シンジケートローン取扱企業先数	2先	1先